



地域課題

アクティビティ(取り組むこと)

初期アウトカム(起きる変化)

長期アウトカム(将来の姿)

人と仕事
なりわい・働く場の減少

- 子ども・若者が運営するイベント(販売・体験・マルシェ)
- チャレンジショップ、コミュニティスペースの設置
- 「交流型職場」づくり(多世代が関われる小商い)
- 地域産品(やぶつる小豆・棚田米・柚子など)の加工・商品開発
- 中高生・若者のアイデアを仕事にする仕組みづくり

地域の仕事や役割が見える化され、
小さな商いや挑戦が生まれる

[成果指標例]

- 地域内で生まれた小商い・試行的な事業の数
- 定期的に活動している担い手(個人・グループ)の数
- 地域内での役割・仕事の見える化(紹介事例)など

筒賀のなりわいが継承・再生し、
多世代が関われる働き方が地域に根づく

場と関係
人が集い、交流できる
拠点の不足

- コワーキング・子どもが遊べる場の整備
- 子ども食堂／世代を超えたサードプレイスづくり
- 「つながる店」(中高生による交流型商店)
- 地域行事・マルシェ・季節のイベントの開催

世代を超えて人が集まり、
顔の見える関係性や
コミュニティが生まれる

[成果指標例]

- 行われた活動・イベントの回数
- イベントの参加者数(世代等の分析を含む)など

地域のコミュニティが再構築され、
人の交流そのものが筒賀の魅力として定着する

自然と文化
棚田・景観・伝統の維持

- 棚田保全(草刈り・農作業・彼岸花プロジェクト)
- 龍頭峡・大銀杏・棚田を舞台にした体験・ツアー
- 森・川・山を使った自然遊び・体験誘導
- 地域文化(伝統行事・習慣)の可視化

自然資源、地域産品などの
価値が整理・発信され、
地域資源への認知が高まる
(体験・関係人口・小商いの土台にもなる)

[成果指標例]

- 棚田・景観・文化資源を活かした企画の数
- 参加者、関係者の数など

自然・景観・文化資源が次世代に継承され、
暮らしと観光が共存する地域として確立する

暮らしと子育て
安心して住める
育てられる環境不足

- 「子育て特区」モデルの構築(遊び・学び・安全)
- 高齢者の健康づくり・介護予防
- 送迎・生活支援の共助ネットワークづくり
- 川遊び・外遊び環境の整備
- 子育て世帯のための“気軽に相談できる場”づくり

子ども・若者・子育て世帯・外部人材など
多様な人の参画が増え始める

[成果指標例]

- 子どもが安心して集まれる居場所・機会の数
- 子育て世帯・若者の参加数、関与の継続性
- 各世代の役割、関係者の声など

若い世帯・移住世帯の定着が進み、
高齢者と若者が支え合う
「暮らし続けられる筒賀」が実現する